

# レポ ー ト

9月定例会における常任委員会は、9月13、14日に開催され、各議案の審査等を行いました。

また、最近開催された特別委員会での主な内容は、P13下段のとおりです。

外国人児童生徒支援モデル事業で、高南小に相談員を配置することだが、高南小に置く意味と、市全体の外国人児童生徒の状況は。

総務文教委員会

市内には外国人児童生徒が約140人いる。全市的な取り組みを考える中で、ノウハウや情報を収集し、発信するセンター校を設けるのが良いということになった。外国人児童生徒は、袋井東小、袋井北小、高南小、袋井中で多いが、中でも高南小は、全児童に占める外国人児童の割合が約15%と多く、結果として高南小になった。

職員は仕事がつづく大変厳しい状況にあるが、さらなる定員適正化が求められている。ミスが起こっており、メンタル面の問題で休んでいる職員も増えている。これら一連の状況に関しての見解は。

総務文教委員会



市役所

ミスが出て申し訳なく思っている。現在、綱紀委員会の原因をきちんと分析するようになっている。ミスの原因究明とそれを防ぐチェック体制、仕事の方法等を見直さなければならぬ。信頼を失わないよう最大限の努力をする。



水玉プール(月見の里)の入場者数が減少してきているが、その原因は。

民生福祉委員会

利用者は、年々やや減少傾向である。近隣市に設備の整ったプールが建設されたことも一因と思われる。今後は、多目的な利用方法について考えていく必要がある。また、高齢者を対象にした健康づくりのメニューについて、委託事業者とともに検討したい。

敬老会開催のあり方をどう考えるか。

民生福祉委員会



敬老会の様子

敬老会については、各地区での参加率が50%を切る状態である。毎年、役員も改選されることから、前年踏襲の状況が見受けられる。自治会連合会長会議においても課題となっている。今後、関係者と敬老会の開催のあり方について、様々な議論を交わしていきたい。

